



平成17年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成16年7月30日

上場会社名 杏林製薬株式会社

（コード番号：4560 東証第一部）

（URL <http://www.kyorin-pharm.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長執行役員 荻原 郁夫

責任者役職・氏名 経理部長

伊藤 洋

TEL：(03) 3293 - 3420

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容)

1. 棚卸資産の实地棚卸の省略 : 帳簿棚卸によって算定しています。
2. 法人税等の計上基準 : 一部簡便的な方法を採用しています。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

売上高以外の項目につきましては、当第1四半期より開示を行っているため、前年第1四半期実績及び第1四半期増減率は記載しておりません。

2. 平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	16,184	8.8	1,349	-	1,587	-	1,112	-
16年3月期第1四半期	14,869	-	-	-	-	-	-	-
(参考)16年3月期	65,061		8,766		8,597		5,692	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
17年3月期第1四半期	14 97	-
16年3月期第1四半期	-	-
(参考)16年3月期	68 76	-

（注）1. 売上高におけるパーセント表示は、対前年第1四半期増減率であります。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

全世界的な世情と経済不安の中、日本経済は厳しい状況から未だ脱することができず、さらに少子高齢化が加速的に進展しております。当第1四半期におけるわが国経済も、企業収益の回復や株式市場の持ち直しなど一部に回復の兆しは見られたものの、依然として厳しい経済環境下にあります。医薬品業界におきましても、本年4月に実施された業界平均4.2%の薬価引き下げなど医療費・薬剤費の抑制策により、国内市場の拡大は望めない状況にあります。

このような中、国内医療用医薬品につきましては、当社平均3.7%の薬価引き下げの影響があったものの、呼吸器内科・耳鼻科・泌尿器科に重点化するフランチャイズカスタマー戦略に基づき、最大限の販売力発揮に努めました結果、123億02百万円（前年同期比0.5%減）を計上いたしました。主力製品では、ロイコトリエン受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤「キプレス」、広範囲経口抗菌薬「ガチフロ」、潰瘍性大腸炎・クローン病治療薬「ペンタサ」につきましては前年を上回る実績で推移しました。

海外では、プリストル・マイヤーズ スクイブ社向けの合成抗菌剤「ガチフロキサシン；商品名 テクイン」のバルク発注が前年を上回る実績となり、また米国アラガン社より昨年発売された「ガチフロキサシン点眼液；商品名 ザイマー」は堅調に推移し、海外医療用医薬品売上は28億29百万円（前年同期比128.7%増）となりました。

一般用医薬品では、主要製品である哺乳ピン・乳首消毒剤「ミルトン」が前年比マイナスとなり、7億45百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

販売促進・広告の企画制作関連事業につきましては、売上高3億08百万円（前年同期比11.1%減）の実績となりました。

この結果、当社グループの第1四半期は売上高161億84百万円、利益につきましては、経常利益15億87百万円、四半期純利益11億12百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（注）金額は百万円未満を切り捨て

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第1四半期	121,664	92,160	75.8	1,239.62
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	121,355	91,856	75.7	1,234.80

【連結キャッシュ・フローの状況】

（注）金額は百万円未満を切り捨て

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	3,137	703	758	44,831
16年3月期第1四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	8,556	4,232	21,501	41,741

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

（財政状態）

株主資本は前連結会計年度末と比較して3億03百万円増加しましたが、総資産もほぼ同額の3億08百万円増加したため、株主資本比率は75.8%で前連結会計年度末と同水準となりました。

総資産増減額の主な内訳は、現金及び預金の増加20億87百万円、受取手形及び売掛金の減少13億08百万円、固定資産の減価償却による減少等です。

(キャッシュフロー)

営業活動により得られたキャッシュフローは31億37百万円の収入で、主な内訳は、税金等調整前四半期純利益16億32百万円、減価償却費8億67百万円、売上債権の減少13億08百万円及び法人税等の支払い14億70百万円、退職金等の支払い9億01百万円です。

投資活動によるキャッシュフローは、7億03百万円の収入で、これは主に債券の償還11億円によるものです。

財務活動によるキャッシュフローは、7億58百万円の支出で、これは主に配当金の支払いによるものです。

この結果、当第1四半期の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末と比較して30億89百万円増加し、448億31百万円となりました。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況(平成16年4月1日～平成16年6月30日)

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	15,876	1,353	1,579	1,070

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	119,684	90,810

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	予想売上高	予想経常利益	予想当期 (中間)純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	30,300	1,800	700
通期	66,000	6,800	3,400

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 45円73銭

[業績予想に関する定性的情報等]

第1四半期は、ほぼ当初計画に沿った業績で推移しておりますので、中間期および通期の業績予想につきましては現段階で変更ございません。

(参考2) 平成17年3月期の個別業績予想(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	予想売上高	予想経常利益	予想当期 (中間)純利益	1株当たり年間予想配当金	
				中間	期末
	百万円	百万円	百万円	円 銭	円 銭
中間期	29,600	1,800	700	9 00	-
通期	64,500	6,600	3,300	-	9 00

1.(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当四半期末 (平成16年6月30日現在)		平成16年3月期 (平成16年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)				
流動資産				
現金及び預金	41,323		39,235	
受取手形及び売掛金	21,252		22,560	
有価証券	4,423		4,221	
棚卸資産	9,188		9,408	
繰延税金資産	1,827		1,436	
その他	4,121		4,378	
貸倒引当金	41		42	
流動資産合計	82,095	67.5	81,198	66.9
固定資産				
有形固定資産				
建物及び構築物	8,715		8,850	
その他	5,627		5,852	
有形固定資産合計	14,342	11.8	14,702	12.1
無形固定資産				
商標権	3,460		3,663	
その他	1,288		1,195	
無形固定資産合計	4,749	3.9	4,858	4.0
投資その他の資産				
投資有価証券	12,028		12,270	
繰延税金資産	5,942		5,816	
その他	2,526		2,530	
貸倒引当金	21		21	
投資その他の資産合計	20,476	16.8	20,595	17.0
固定資産合計	39,568	32.5	40,157	33.1
資産合計	121,664	100.0	121,355	100.0
(負債の部)				
流動負債				
支払手形及び買掛金	5,814		5,618	
未払法人税等	1,053		1,491	
賞与引当金	1,085		2,340	
返品調整引当金	32		32	
その他	6,174		4,778	
流動負債合計	14,160	11.6	14,261	11.7
固定負債				
退職給付引当金	14,927		14,770	
役員退職慰労引当金	352		403	
その他	63		63	
固定負債合計	15,342	12.6	15,237	12.6
負債合計	29,503	24.2	29,498	24.3
(少数株主持分)				
少数株主持分	-	-	-	-
(資本の部)				
資本金	4,317	3.5	4,317	3.6
資本剰余金	949	0.8	949	0.8
利益剰余金	105,063	86.4	104,735	86.3
その他有価証券評価差額金	2,472	2.1	2,478	2.0
為替換算調整勘定	7	0.0	4	0.0
自己株式	20,634	17.0	20,619	17.0
資本合計	92,160	75.8	91,856	75.7
負債、少数株主持分及び資本合計	121,664	100.0	121,355	100.0

2 .(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 6 月 30 日		平成 16 年 3 月期 自 平成 15 年 4 月 1 日 至 平成 16 年 3 月 31 日	
	金 額	構成比	金 額	構成比
売上高	16,184	100.0	65,061	100.0
売上原価	5,813	35.9	22,389	34.4
売上総利益	10,370	64.1	42,671	65.6
販売費及び一般管理費	9,021	55.8	33,905	52.1
営業利益	1,349	8.3	8,766	13.5
営業外収益	269	1.7	546	0.8
営業外費用	31	0.2	715	1.1
経常利益	1,587	9.8	8,597	13.2
特別利益	56	0.3	5,382	8.2
特別損失	11	0.0	4,506	6.9
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,632	10.1	9,474	14.5
法人税等	519	3.2	3,781	5.8
四半期(当期)純利益	1,112	6.9	5,692	8.7

3.(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	当四半期 (平成17年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,632	9,474
減価償却費	867	4,774
売上債権の増加額()・減少額	1,308	961
棚卸資産の増加額()・減少額	219	1,400
仕入債務の増加額・減少額()	195	615
その他	1,285	3,381
小 計	5,509	13,844
法人税等の支払額	1,470	5,420
その他	901	131
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,137	8,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	2,919
有価証券の売却(償還)による収入	1,100	3,709
有形固定資産の取得による支出	166	4,712
その他	229	310
投資活動によるキャッシュ・フロー	703	4,232
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得・売却による支出(収入)	14	19,951
配当金の支払額	743	1,549
財務活動によるキャッシュ・フロー	758	21,501
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	196
現金及び現金同等物の増加額 (又は減少額)	3,089	17,373
現金及び現金同等物の期首残高	41,741	59,115
現金及び現金同等物の期末残高	44,831	41,741

2005年3月期 第1四半期 補足資料

2004年7月30日
杏林製薬株式会社

< 連結売上高について >

(単位：百万円)

	通期		中間期		第1四半期(4月～6月)		
	03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 実績	前年比 (%)
売上高	65,061	66,000	30,831	30,300	14,869	16,184	+8.8
国内医療用	51,546	52,300	24,670	24,100	12,367	12,302	▲0.5
海外医療用	8,533	8,300	3,672	3,600	1,237	2,829	+128.7
その他	3,510	3,900	1,794	1,900	917	745	▲19.0
販売促進・広告の 企画制作	1,471	1,500	693	700	347	308	▲11.1
営業利益	8,766	6,500	3,387	1,700	—	1,349	—
経常利益	8,597	6,800	3,336	1,800	—	1,587	—
当期純利益	5,692	3,400	4,643	700	—	1,112	—

< 主要製品の売上高について >

(単位：億円)

	製品名	通期		中間期		第1四半期(4月～6月)		
		03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 見込み	03年度 実績	04年度 実績	前年比 (%)
国 内	ムコダイン (気道粘液調整・正常化剤)	180	185	78	82	44	44	1.2
	キプレス (LT受容体拮抗剤・気管支喘息治療剤)	98	115	43	51	21	26	23.9
	ケタス (気管支喘息・脳血管障害改善剤)	70	69	35	35	17	16	7.6
	ペントサ (潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤)	60	61	30	30	14	15	7.1
	アブレース (胃炎・胃潰瘍治療剤)	29	24	15	13	8	7	14.1
	ロカルトロール (活性型ビタミンD3製剤)	27	24	14	13	7	6	15.1
	バクシダ-ル (広範囲経口抗菌剤)	9	7	4	3	2	2	13.8
	ガチフロ(自社販売) (広範囲合成抗菌薬)	17	27	6	11	3	5	54.9
	ミルトン (哺乳ビン・乳首消毒剤)	27	28	14	14	7	6	15.5
海 外	ガチフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	71	76	30	33	9	27	191.5
	ノルフロキサシン (バルク・ロイヤルティ含む)	11	4	6	2	2	1	49.2

ガチフロキサシン・ノルフロキサシンは、それぞれライセンシー向けのバルク売上とともに、ライセンシーの販売に応じたランニングロイヤルティを含んだ売上を計上いたしております。

< 開発品目の進捗について >

開発段階		製品名・開発コード	薬効	備考
日本	海外			
承認 (04年1月)		N - 3 3 8 9 (錠)	制吐剤	日清キョーリン製薬が単独で申請 日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発 0 4 年 6 月薬価収載
P h	P h	K R P - 1 9 7 (錠)	尿失禁治療剤	海外：英国において P h 終了 (C R O 活用) 国内：小野薬品工業と共同開発・販売
P h		ペキロン ネイルラッカー	爪白癬治療剤	マルホと共同開発
P h /		モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	剤形追加：細粒 用法・用量の変更 * 小児 (1 ~ 5 歳) 用新規製剤 万有製薬と共同開発
<u>P h</u>		モンテルカスト	気管支喘息 治療剤	<u>効能追加</u> * 成人 アレルギー性鼻炎 万有製薬と共同開発
P h	P h	N - 5 9 8 4 (錠)	糖尿病治療剤 抗肥満剤	日清製粉グループ 日清ファルマと共同開発
	<u>P h</u>	K R P - 1 0 1	高脂血症治療剤	<u>海外：P h を開始 (6 月)</u>

< 導出品の状況について >

開発段階		製品名・開発コード	薬効	備考
日本	海外			
<u>承認</u> (04年7月)	発売 (03年4月)	ガチフロキサシン 点眼液	合成抗菌剤	千寿製薬へ日本における開発、製剤及び 販売権を供与

第1四半期における開発品目の主な進捗状況についてご説明いたします。

モンテルカストの効能追加 (アレルギー性鼻炎) につきまして、万有製薬と共同開発を開始いたしました。

K R P - 1 0 1 の海外での治験におきまして、P h を開始いたしました。

千寿製薬に導出したしましたガチフロキサシン点眼液が承認されました (7 月) 。

注：下線部が前回開示 (0 4 年 3 月 期) との変更部分